

私の選んだ5枚

工藤 隆太郎（横浜市立勝田小学校）



「トウモロコシ畑と変電所」

広大なトウモロコシ畑の中に突如現れた巨大な人工物。ミスマッチなものですが、この変電所がこの地域に明かりという名の希望を届けているのです。



「リズムが生み出す一体感」

指と足踏みでリズムを作ってみんなで答え合わせ。思わず見ているこちらもほっこりしてしまいます。この一体感が学習の意欲につながっていると感じました。



「経済発展がもたらす反動」

ダルエスサラームの渋滞はすごいです。信号も動いてない状況でも、片側2車線の道路を右折していきます。交通事故の多発と発展…。あなたは何を考えますか。



「日本とタンザニアのかけ橋に」

日本の子どもたちの作ったものを渡し、喜んでもらえました。これからは心も通じ合えるかけ橋になっていきたいと思います。



「日本にはないものが…」

どこか懐かしい風景。しかしよく見ると日本にはないものが…。あなたは見つかりましたか。

私の選んだ5枚

関谷 康之（横浜市立神大寺小学校）



「ジーブ サ ヒヒ！（正解だよ！）」

数学の時間、「正解だよ！よくできたね」と◎をつけたときの嬉しそうな表情が今でも目に焼き付いています。



「タンザニアの食料事情を支えるもの」

ウガリのもとになる白いトウモロコシ。日本とは違っても、美味しいものになるという点は共通。



「どの国でも変わらない母の生活の知恵」

ご飯を炊いた後、保温しておくために炭を置く工夫。温かいものを食べてほしいという母の優しさがさりげなくでている。



「こんな所もアートの国『タンザニア』」

男子トイレの表示。ティンガティンガアートがこんなところにもあるなんて、驚きました。



「ウガリのできる過程」

何度も吹き上がりながら少しずつ固まっていくウガリ。完成までの過程が見れて感動！



「この子たちと…」

カランガ小学校のあるクラスの子ども達です。彼らと自分のクラスの子ども達が出会うことができたなら、どんな世界が広がるのか、想像しただけでわくわくしました。



「マーケットでコメを購入！」

ローアモシ灌漑施設などの見学をした後、マーケットでコメを売っている人たちに出会うと、なんだかとても嬉しくなりました。私もローアモシ米を購入しました。



「昼食の準備中…」

マボギニ村のバルタザーリさんの家族の家にお邪魔しました。「次はこれを切って…向こうに持って行って…」など、あれこれ話しながらするご飯の準備…素敵な時間を過ごすことができました。



「ダルエスサラームの街」

研修初日、「本当にアフリカ大陸・タンザニアに来たのかしら？」とってしまうくらい驚きました。



「慣れた手つきで…」

マボギニ村を訪れた際、案内してもらった田んぼで田植えをしている方に出会いました。「ぐちゃぐちゃに植えると葉は育つけど、米は良くないんだ…」と教えてくれました。

私の選んだ5枚

平野 沙和（川崎市片平小学校）



「おいしくなあれ」

かまどの火おこしから始まる昼食の準備。私も体験しましたが、とても重労働。愛する家族のために奮闘する女性の強さを感じました。



「ここはどこでしょう」

はじめてきた場所なのに、なぜか懐かしさを感じる…。モシの稲作の視察



「まぶしい笑顔」

ソーラン節披露の後、「わたしたちも踊れるわ」とダンスを披露してくれました。ダンスを通じて、心が通い合いました。



「一家の太陽と大黒柱」

農村体験でお世話になったご家族。
この 2 人の明るさと優しさに包まれて育った息子さんも、とても素敵でした。



「目が覚めるような鮮やかさ」

タンザニアの伝統的なアートであるティンガティンガ。動物からマサイ族のものまでさまざまな絵が、色鮮やかに描かれています。

私の選んだ5枚

山岸 真喜子（座間市立立野台小学校）



「smile!」

日本の支援で作った灌漑施設で
水汲みをするこどもたち。



「ここはどこでしょう？」

日本のような風景ですが、奥にバ
オバブの木があります。



「モシの市場」

以前モシにいた JOCV の知り合
いらしく、一緒に写ってくれまし
た。



「教材作り」

教科書や教材が足りない中、先生は工夫しています。



「現地の人と共に」

タンザニア人と共に活躍する JOCV。

私の選んだ5枚

新堀 孝太郎（横浜市立新羽中学校）



「JUMB!」

田んぼを視察した際に会った男性の写真です。とびっきりの笑顔で挨拶をしてくれました。



「家族だよ！全員集合！！」

ホームステイをさせて頂いた農家の家族写真です。笑顔がステキな家族でした。



「真剣に見つめる瞳の先には・・・」

学校の授業中の写真です。キラキラした目で授業に臨む姿が印象的でした。



「私の好きなものは・・・」

授業であなたの名前と年齢と好きなものを聞いたときに撮った写真です。



「正解の記念に～はいポーズ～」

現地の先生の計らいで問題に正解した生徒と記念撮影した時の写真です。

私の選んだ5枚

赤穂 沙織（鎌倉市立御成中学校）



「Japani」

時々、日本と同じような風景がありました。田んぼに畑、おじさん、自転車・・・白黒で見るとさらに似ています。違うようで同じ。同じようで違う。



「THE 教育」

先生がいて生徒がいて、黒板があってノートがあって…これが教育というものなのだと思います。日本にいるといろいろな道具や情報があって、難しく考えてしまうけれども、タンザニアはいたってシンプル。でもこれが本質のような気がしました。



「バオバブと犬と男の子」

バオバブの木に感動してわーわー言っていた私たちの近くで「なんでこの木見て騒いでるの」と日常生活を送っている犬と男の子。とてもものどかでした。



「マリアちゃんとウエマちゃん」

農村訪問での一枚です。左の大きなお姉ちゃんがマリアちゃん、抱いている子がウエマちゃん。ウエマちゃん、二か月と言っていましたが見た目と違いずっしりしていました。やっぱり子どもは皆かわいい。



「給食室にて」

子どものお昼のため、「ウガリ」を作っているところです。日本だと割烹着を着たおばちゃん、といったイメージですが、なんだか絵になる素敵な空間でした。

私の選んだ5枚

大貫 謙一（神奈川県立光陵高等学校）



「タンザニア家庭の庭先」

稲作地域の家庭に半日ほど滞在した際の庭先での団らん風景



「タンザニアの代表食ウガリ」

タンザニアで始めて食べたウガリ。その後ずっとお世話になりました。



「校歌を歌う生徒たち」

ムランディジ小学校の子供たちが校歌を元気よく歌う姿に感激



「マーケットに並ぶ野菜」

マーケットには予想以上にたくさんの食料が並び、にぎわっていた。



「キリマンジャロを眺めて」

美しいキリマンジャロ山の姿を眺めながらタンザニアの将来を考えた。

私の選んだ5枚

黄金井 貴徳（神奈川県立横浜清陵総合高等学校）



「カラフルな国タンザニア」

行く前はこんなに色鮮やかなところだと予想もしてなかった。みんなオシャレなんです。



「その先にあるものは…」

日本とタンザニア、共に未来を歩もう！って感じですが、サルがいただけです(笑)



「ついに来た！」

遠い海を越えてやってきた先生達。ここからが私たちの未来の始まり。



「笑顔畑」

ムランディジ小学校にて。
たくさん子ども達が笑顔で走り寄ってきます。



「日本のコメ畑に黒人？」

一見日本のコメ畑ですが、実は
これタンザニアのコメ農家なんです！

私の選んだ5枚

諏訪 めぐみ（山梨県立甲府西高等学校）



「高層ビル」

日本の田舎にはない高いビル。初めて、アフリカに行きましたが、私の住んでいるところより、圧倒的に都会でした。



「深夜の街並み」

ホテルから眺めた深夜の様子です。
ダルエスサラームなのに、暗いという印象。しかし、一方で電力不足という事情を考えれば、こんなにも電気がついているという印象でした。



「ある日の昼食」

タンザニアのチキンは日本のチキンの数万倍、比べ物にならないくらい、美味しい。チキンを食べたくなったら、タンザニアに行こう！



「田舎の風景」

日本の風景と見間違ふような一枚です。田んぼ、鉄塔、日本と全く同じですが、でも、よ〜おくとみると、バオバブの木が…



「食事の支度」

家の女性全員で食事の支度。和気あいあいとコミュニケーションをとりながら、みんなで時間をかけ、愛情たっぷりの食事を作ります。食事を作るときは、カンガを腰に巻きます。